

捉得つべきその涯へ見くぬと二浦左馬助。庵原右近走り出。厥の
九郎次郎鄙怯あり。ううよ猛威と奮へんとて。道々道々さのこら
む。汝が父いなき既小。橋とるく郷へ還り。然るは汝斯をうり。狼
籍と奉止て。父左馬助が言譯の妨ともありぬ。うや尋常不
罪小伏せし。設意と重しと思ふはやと。呼する声小九郎次郎。
方僅い何とう言ひらうん。疑令解べき道理ありとて安穩ある
身小。うらべ。悲の咱まづ自殺して父が冥途の魁せんと。最期と
決して怒声と発し。いふ方く聴む。俺們父子は尾州より當家
の弓箭と慕ひしあせ。旗下小属してよう。政心あり忠義と竭し。
主君の命せよ又若び。織回家小歸伏の体とる。我身は清洲
小質とありて。夏年月と千辛万苦。當家上洛の道と前んと。

日夜ふ心と碎きしめと。讒者の實否も同究ゆ。俺們父子と罪
あいま。當家滅亡の緒端あり。是を正く尾州の謀士が謀果せて
け珍事と引出せしと覺り。其謀計小陥りし。君の心の浅く
さ。吾儕々運も當家の栄も。共小をうりて成果あり。見く勇士
の一言の證あると。采小持する太刀と把懸し。肚小擱立正一
文字小搔斬て。突起する采灰がりけ。朝比奈の浦と敵と
て。大張健氣小果すと。褒ぬめとをさりけれ。此事を義えへ
言状せし。听しうされて下辞あり。九郎次郎自害せし上り。
左馬助が罪詮義小登る。快く誅と加之と。命と朝比奈
承听し。左馬助と囚車々。阿部河原小輓出。戸部新十郎
とめて山口が首と歐せり。山口滅びて鳴海城小。主ありて稱小